

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事		平成31年 7月 22日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 東京都港区虎ノ門二丁目2番1号		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 日本たばこ産業株式会社 代表取締役社長 寺島 正道 電話03-3582-3111
環境マネジメントシステムの名称	関西工場環境マニュアル（ISO14001）	
適用範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本たばこ産業株式会社関西工場</li> <li>・ジェイティプラントサービス関西支店</li> <li>・ジェイティエンジニアリング関西支店保全担当</li> </ul>	
導入年月日	2002年 9月 13日	
認証番号	YKA 0773056/J	
基本方針	<p>1. 労働安全衛生、品質、環境のマネジメントシステムを維持します。更に、定期的な内部監査やマネジメントレビューにより継続的な改善に努めます。</p> <p>2. 法規制ならびにその他協定などを順守します。必要に応じ自主基準を設け、労働災害、環境の保全・汚染の予防に努めます。</p> <p>3. 達成すべき目標を明確にし、計画的に安全衛生・製品品質改善・環境保全の活動を推進します。</p> <p>重点課題として、以下の項目に取り組みます。</p> <p>(1) 安全衛生に関するリスクの低減</p> <p>(2) 製品品質の向上</p> <p>(3) 省資源、省エネルギーの推進</p> <p>(4) スキルとマインドの向上</p>	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<p>平成30年度目標</p> <p>1. 環境負荷低減（平成30年1月～平成30年12月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出量：21,825 t-CO2/年</li> <li>・CO2原単位：0.672 t-CO2/百万本</li> <li>・水使用量：169,562m3/年</li> <li>・廃棄物発生量（有価物含む）の抑制：2,766 t/年</li> </ul> <p>2. 関係法令の順守の強化</p>	
目標を達成するための取組の内容	<p>1-1. CO2排出量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空調運転管理の最適化</li> <li>・冷凍機稼働台数削減</li> </ul> <p>1-2. 水使用量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冷凍機稼働台数削減による冷却水使用量削減</li> </ul> <p>1-3. 廃棄物の発生量の抑制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原材料ロスの低減</li> </ul> <p>2. 関係法令の順守の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要とする教育訓練の計画と実行</li> <li>・各種届出の確実な実施</li> </ul>	
目標を達成するための取組の進捗状況	<p>1-1. CO2排出量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空調機及び冷凍機の適正管理実施</li> <li>・製造設備の稼働/停止最適化による省エネ活動</li> </ul> <p>1-2. 水使用量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冷凍機稼働台数抑制実施</li> </ul> <p>1-3. 廃棄物の発生量の抑制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原材料ロスの最適化 定期的なモニタリング実施</li> </ul> <p>2. 関係法令の順守の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・更新設備の設置・廃止届出を随時提出</li> <li>・各種届出提出チェックの強化</li> </ul>	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	<p>CO2排出量： 21,542 t-CO2/年 (達成)</p> <p>CO2原単位： 0.628 t-CO2/百万本 (達成)</p> <p>水使用量： 144,641m3/年 (達成)</p> <p>廃棄物発生量： 2,480 t/年 (達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出量削減</li> <li>夏季節電ではピークシフト、作業場内適正温湿度管理の実施による空調機や冷凍機の運転抑制、圧空漏れ調査、製造設備の稼働/停止最適化による省エネ活動を実施した。</li> <li>・水使用量の削減</li> <li>冷凍機稼働台数抑制実施</li> <li>・廃棄物発生量の抑制</li> <li>原材料ロスの最適化 定期的なモニタリング実施</li> </ul>	
事業活動に係る法令の遵守の状況	<p>法令で定められた測定の実施状況及び基準値の順守状況について毎月確認を行うとともに、1年に1回以上関連法規の順守状況についてチェックシートを活用し、システム全般にわたって内部監査及び外部監査を実施した。結果、違反や行政当局からの指摘はなかった。</p>	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・順法について、一層のコンプライアンス推進のため、操業後の届出履歴の蓄積と今後の届出の管理体制の整備を図り、法令順守体制の構築に努める。</li> <li>・2019年度環境目的の重点項目は、「コスト低減とCO2排出量削減の最適化」と「廃棄物発生量の削減」、「水使用量の低減」とする。</li> <li>・2019年4月1日より、「J」グループ環境方針の改訂がなされた。内容確認の結果、現行の工場環境方針で変更内容も包括していると判断し、工場の環境方針に変更はなし。</li> </ul>	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。